



# アウンクル

アウンクルとは、アイヌ語で『隣人』という意味です。  
皆様のよき隣人でありたいという思いを込め、創設者（現名誉会長）中村秀夫の出身地、北海道にちなんで名づけました。

## デジタルすこやか教室

いままでたくさんの方にご参加いただいていた、市民公開講座「すこやか教室」。  
昨年10月から動画配信を開始しました。  
ご都合のいい時間に視聴いただけますので、みなさまの健康管理の助けになれば嬉しいです。

動画の公開講座を始めました!

スマートフォンの方は…



**NEW** 腰痛が楽になる姿勢・動作

URL <https://www.ach.or.jp/info/generalinfo/AOOC.html>

## LINE公式アカウントを開設しました!

上尾中央総合病院では、健康教室や公開講座のお知らせと、  
緊急時の情報をお届けするためにLINE公式アカウントを作成しました。  
ぜひ、友だち登録をお願いします。  
申し訳ありませんが、職員による登録のお手伝いはお受けしていません。



@acgh



## 離乳食教室

- ▶ 離乳食のはじめ方、すすめ方に不安がある方
- ▶ 食物アレルギーについて知りたい方

日時 2022年1月19日(水) 15:00~16:00

開催場所 上尾中央総合病院 B館8階 会議室6+7  
Zoom同時開催

URL [https://www.ach.or.jp/about/dept/general/pediatrics/baby\\_food.html](https://www.ach.or.jp/about/dept/general/pediatrics/baby_food.html)



## 高度な医療で愛し愛される病院

### 理念の実行方法

- 地域住民、地域医療機関と密着した医療
- 連携組織による24時間救急体制の実施
- 何人も平等に医療を受けられる病院
- 医療人としての自覚と技術向上のための教育
- 最新鋭医療機械導入による高度な医療
- 予防医学の推進に向けた健診業務

### 患者権利章典 患者さまの権利と責務

1. 医療を平等に受ける権利
2. 十分な説明を受ける権利(説明と同意および理解と選択の権利)
3. プライバシーが守られる権利(個人情報の保護)
4. カルテを知る権利(個人情報の開示)
5. セカンドオピニオンを受ける権利(情報収集の権利)
6. 良好で快適な環境で医療を受けられる権利
7. 健康教育を受ける権利
8. マナーや規則を守る責務
9. 自身の情報提供の責務
10. 権利章典を守る責務

### 臨床研修理念・基本方針

基本的診療能力を備え、  
医療人としての品性と向上心を持ち、行動力、決断力、  
コミュニケーション能力を有する医師を育成する。

- 救急総合診療科での救急研修(昼間および夜間での救急対応)、ならびに総合診療研修(病棟および外来)、離島・へき地での地域医療研修の3つの研修の柱とする。
- 各専門家研修においては、各科が扱う疾患の診療内容を理解し、基本的疾患の診療能力、各科へ適切に依頼する能力を習得する。
- 医療事故の未然防止と事後の対応法、および病院感染防止策を理解しマニュアルに従い行動できる能力を身につける。

今号ではハートリズムセンターのお話をさせていただきました。不整脈は多くの方に知られていますが、その治療方法は時代とともに新しい手法が確立されています。  
地域に愛される総合病院を目指し、12月1日の開院記念の日に決意を新たにいたします。

編集長 平田 一雄



\*見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10 TEL048-773-1111 (代)

<https://www.ach.or.jp>

上尾中央

検索

- 発行：上尾中央総合病院 ■発行人：徳永英吉
- 編集者：平田一雄 ■編集：広報部会
- 内容に関するお問い合わせは総務課広報係まで

文書番号 QJH005



上尾中央総合病院は1964年12月1日の開院から、58年目を迎えることができました。  
ささやかなお祝いの場に、当院近くのケーキ屋さん「ロボット」さんによって頂いたケーキが華を添えてくださいました。

● 2022年 年頭挨拶 院長 徳永 英吉

● 専門医に聞く不整脈

● 2月10日はフットの日・靴選びの重要性

● INFORMATION 1月

● デジタルすこやか教室

● LINE公式アカウントを開設しました!

● 離乳食教室

# 2022年 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

新年のご挨拶を申し上げます。



上尾中央総合病院

院長 徳永 英吉

2020年から流行している新型コロナウイルス感染症ですが、2年経過した現在でも戦いは続いています。勢いを増し、昨年は第3波、第4波、第5波の襲来により、甚大な医療ひっ迫を引き起こし、引き続き対応に追われた一年になりました。新型コロナウイルスワクチンの普及で、ようやく終息の兆しが見え始めたかと思われましたが、新たな変異ウイルスであるオミクロン株の出現により、一進一退の攻防がさらに長期化することを感じています。この稿を作成時は新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が開始となり、当院でも地域の医療従事者への接種や、地域の方の個別接種の後方支援を見据えています。引き続き、全職員一致団結して事に当たっていきたいと思います。

ワクチン接種に端を発しますが、今後はポストコロナを考えなければなりません。

本来の医療提供を維持しつつ、新興感染症の対応は容易ではありません。病床および人材等の医療資源の確保や院内感染対策の徹底、感染制御チームが必要となり、今一度体制を見直し、強化することが重要だと考えます。

この内容は2022年度の診療報酬改定にも影響しており、これまでの「医療従事者の働き方改革の推進」、「地域包括ケアシステムの推進」を踏襲しつつ、新型コロナウイルス感染症を契機とした「新興感染症等に対応できる強固な医療提供体制の構築」、「安心・安全で質の高い医療の実現」も重要なポイントになると予想されています。

日々変化する社会情勢および診療報酬の根幹となる医療政策に対して漫然に構えるのではなく、「求められる医療」が何かを追求することで地域医療に貢献できると考えます。

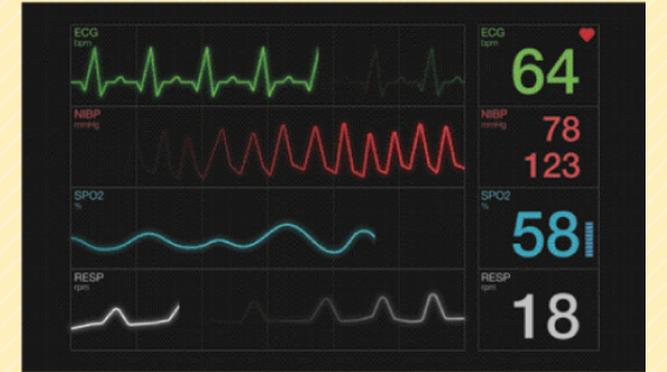
今後も職員一同、一丸となり邁進してゆく所存でございます。

これからも皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 専門医に聞く不整脈

ハートリズムセンター長（循環器内科副科長兼任） 林 健太郎

“不整脈”と聞くと難しく感じるかもしれませんが、不整脈には治療の必要のないものから、脳梗塞や心不全、突然死の原因になりうるしっかり診断・治療の必要なものまで様々です。不整脈は“正しく恐れる”ことが重要です。当院のハートリズムセンターでは、複数の不整脈専門医が適切な診断から最適な治療まで、患者さんの合併している病気等も含めて全人的な専門医療を目指しており、全国トップレベルの医師の治療実績と最新の医療機器がそれを可能にしています。“動悸・息切れ”などの症状、健診での不整脈の指摘など、お気軽に受診の相談を頂ければと思います。一緒に最適の解答を見つけていきましょう。



## フット 2月10日はフットの日 靴選びの重要性

理学療法士 上原 優喜

私は、主に糖尿病患者さんの足のリハビリテーションを担当しています。患者さんとリハビリをしていると靴が原因で傷が出来ている方が多く、足に合わない靴を履いている方が非常に多いです。足に対して靴が大きすぎれば中で足が動いてしまい、靴との摩擦で傷ができます。小さすぎれば足が締め付けられてしまい、圧迫されることで傷ができてしまいます。この機会にぜひご自分の足と靴を見直してみたいでしょうか。

### 足に合う 靴の選び方

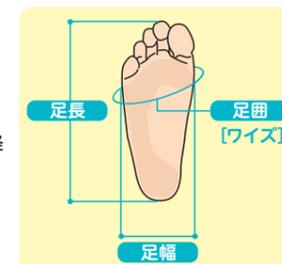
- 自分の足のサイズを測る
- 足長（かかとの頂点～一番長い指の先の長さ）と
- 足囲（爪先の一番広がっている部分の周径）の把握する
- 自分の足のタイプを把握する

### 足のサイズチェック

**足長**  
踵の後ろ～指の一番長いところ

**足囲（ワイズ）**  
親趾～小趾で一番足幅が広い部分の周径

ワイズ表を確認



### 足のタイプチェック



**ギリシャ型**  
人差し指が一番長い

通常の靴選びでOK



**エジプト型**  
親指が一番長く順に短くなっている

日本人に多い  
実際のサイズよりも大きめも試す



**スクエア型**  
親指と他の指がほぼ同じ長さ

親指の内側が靴の壁にぶつかりやすいため、1～2cm大きい靴を試す